

MCT TTT コース設計書

名 称	MCT TTT
時間×日数	7時間×3日間 10:00~18:00
受講対象者	MCT 取得希望者
受講者の 想定スキル	MCAS 担当するアプリケーション合格済み
形 態	6名までの集合研修
使用テキスト	日経BP社 プロフェッショナル・トレーナーへの道 エイチ・アール・ディー研究所、MOT コミュニティ共著
機 材	<ul style="list-style-type: none"> ・受講者は1人1台のPCを使い、講師用PCの画面をプロジェクターに投影 ・ホワイトボードないしフリップボード ・ビデオ収録のための機材
環 境	・2007 Office system
ス タ ッ プ	メイン講師1名
研修の目的	MCTに必要なトレーナーとしてのスキルを身に付け、研修の現場で実装できる *該当するスキル基準は、CTT+における12のスキル評価基準（80%以上）に準拠
研修の目標	<ul style="list-style-type: none"> ・MCTに必要なスキルを実務に実装する必要性が理解できる ・MCTに必要なスキルの基本を演習およびビデオ収録の中で実践できる *該当するスキル基準は、CTT+における12のスキル評価基準（80%以上）に準拠
最終評価	3日間を通して学習した内容を盛り込んだ詳細プランの作成と20分間のビデオ収録ができ、実務への実装の必要性を理解したことで達成とする
研修概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. テキストを使ってMCTとして必要な知識とスキルを理解する スキル基準は、CTT+における12のスキル評価基準に準拠する 2. 学習した内容を、各演習で練習する <ul style="list-style-type: none"> ・各要素に分割して、積み上げるように学習していく ・各演習では、他の受講者および講師レビューを行う 3. 研修前の事前確認の重要性とコース設計から詳細プラン作成の概要を理解する 4. 各自のビデオ収録を行う範囲の詳細プランを作成する 5. 詳細プランについて、他の受講者および講師評価から改善点を把握する 6. 各自の詳細プランに12のスキル基準を実装するような改善案を出せる 7. 前半2日間の講義とディスカッションを通し、12のスキル評価基準の重要ポイントを収録するビデオと実務で実装するにはどうしたらいいかを意見交換することによって理解を深める 8. 上記をもとに、3日目に約20分間の模擬授業のビデオを収録する 9. 各自のビデオ収録内容について、他の受講者の感想、自己評価および講師の評価をもとに振り返りを行う